

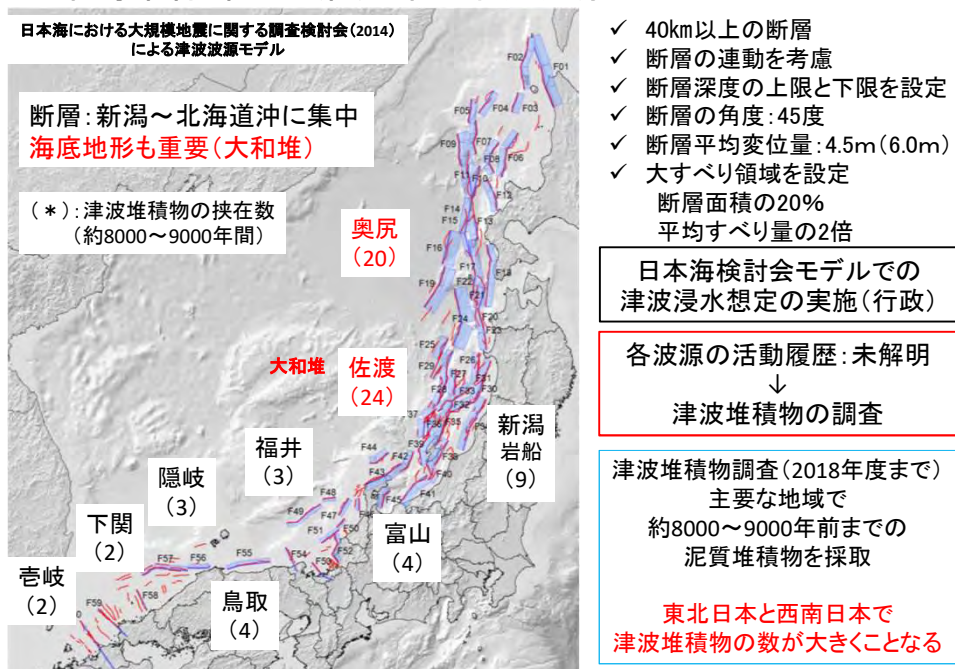
(2) 津波波源モデル・震源断層モデルの構築

津波堆積物の調査

担当: 卜部厚志(新潟大学)

1

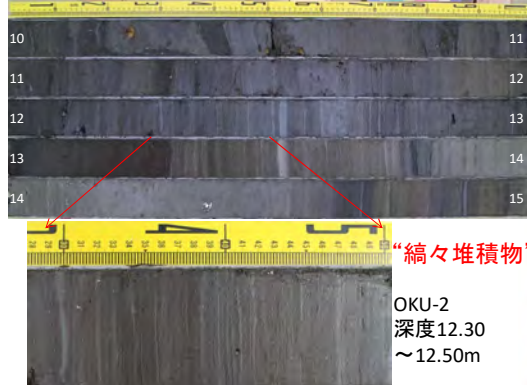
日本海東縁部の断層分布と津波波源モデル



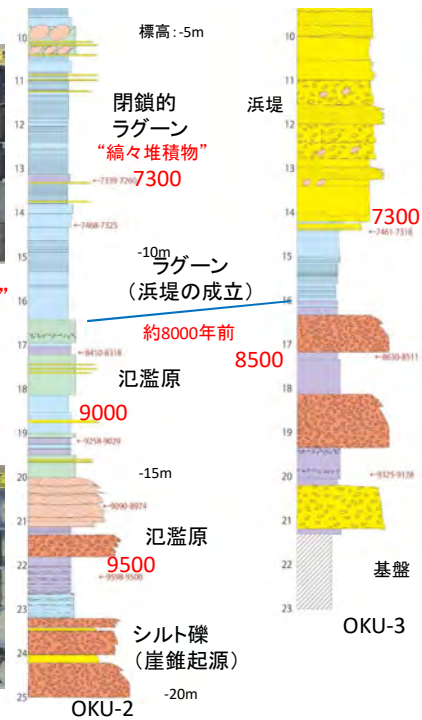
津波堆積物の調査例(北海道・奥尻島・ワサビヤチ)
砂州で閉塞された小規模ラグーン



OKU-2 深度10~15m



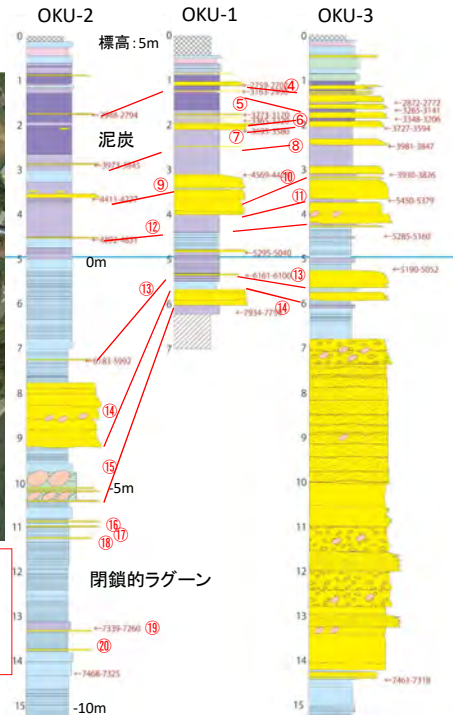
OKU-2 深度20~25m



津波堆積物の調査例
(北海道・奥尻島)



閉鎖的ラグーン～泥炭に
挟在されるイベント砂層
* 淘汰のよい砂
= 津波イベント



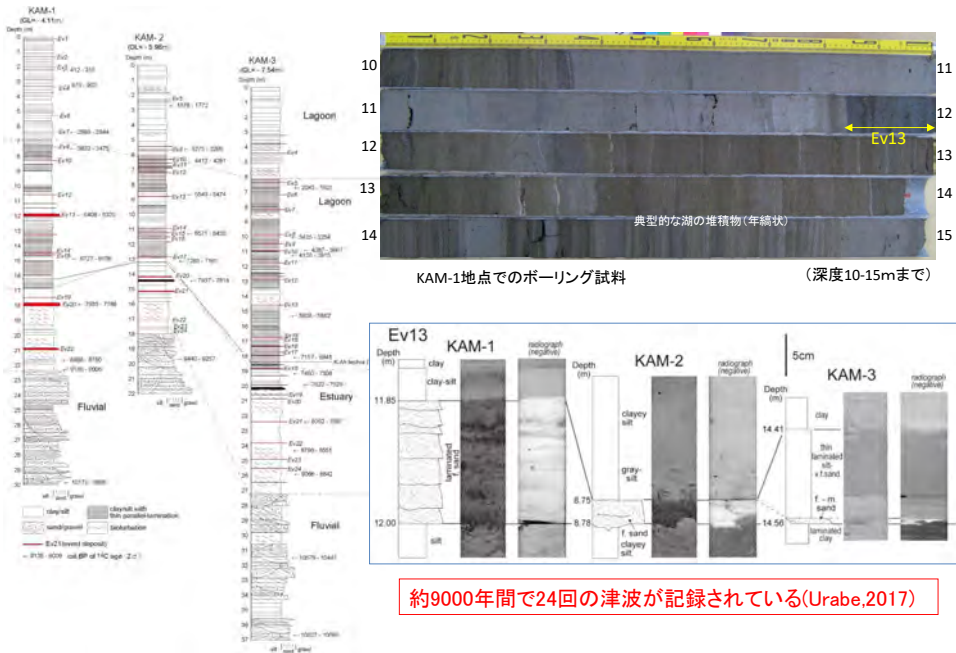
ワサビヤチでの
イベント堆積物
(Kawakami et al., 2017)
OW-1: 12C
OW-2: 5~6C
OW-3: 1900年前
OW-4: 2500年前
OW-5: 3000年前

2017日本海P1による
イベント堆積物
OW-6: 3310年前
OW-7: 3650年前
OW-8: 3910年前
OW-9: 4320年前
OW-10: 4520年前
OW-11: 4580年前
OW-12: 4850年前
OW-13: 6090年前
OW-14: 6400年前
OW-15: 6450年前
OW-16: 6550年前
OW-17: 6580年前
OW-18: 6660年前
OW-19: 7140年前
OW-20: 7250年前
2σの中央値

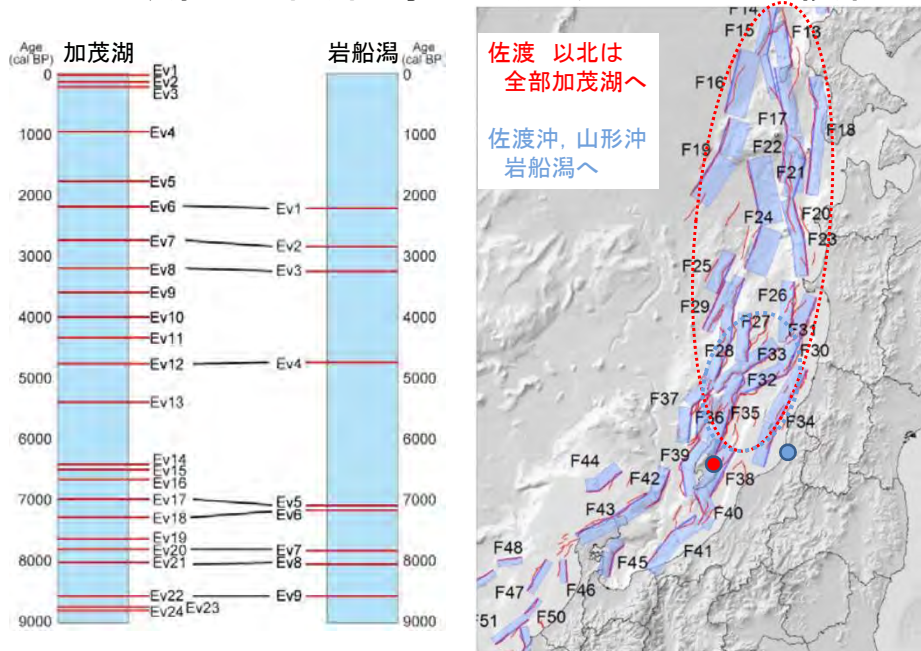
津波堆積物の調査例(湖での掘削調査:新潟・佐渡島)



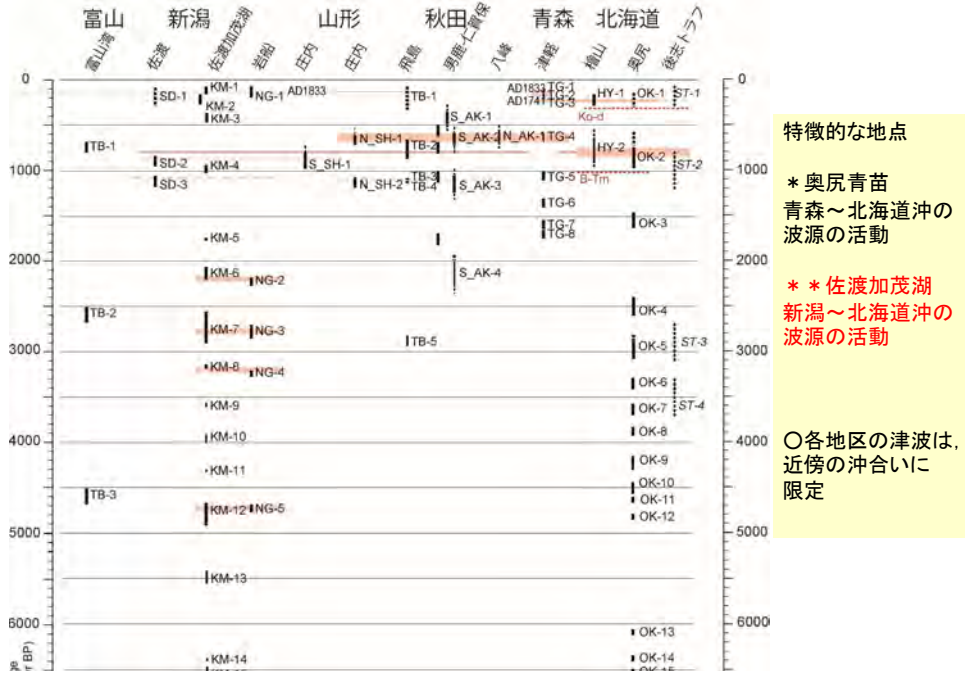
津波堆積物の調査例(湖での掘削調査:新潟・佐渡島)



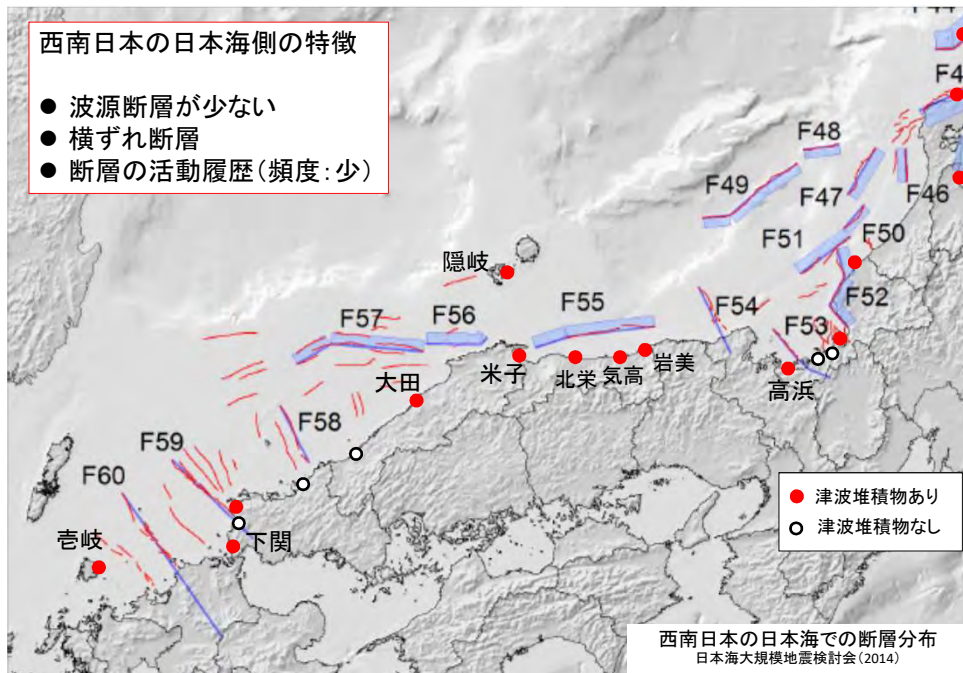
加茂湖と旧岩船潟に共通する津波堆積物



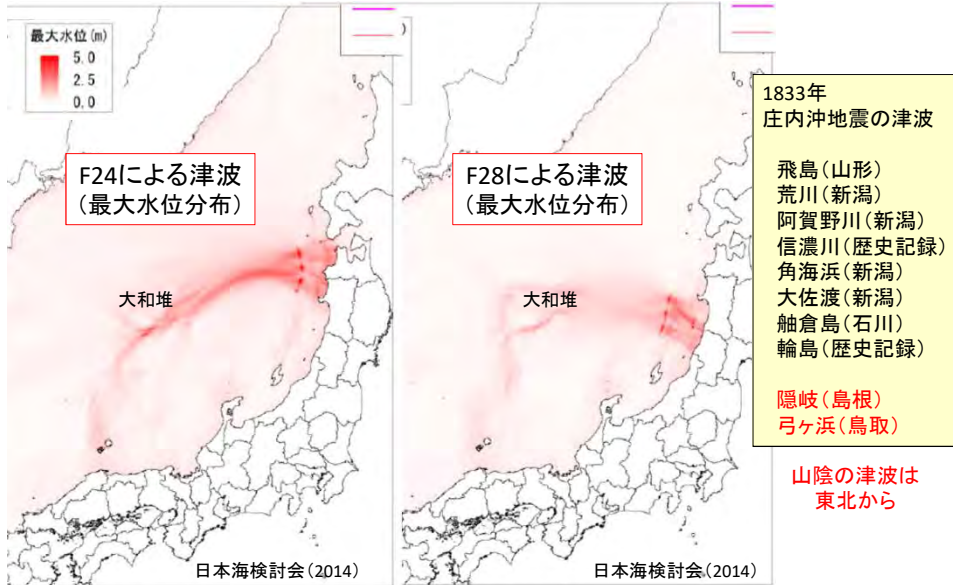
新潟以北での津波堆積物の年代、分布



西南日本の日本海側での波源(断層)分布と津波堆積物の調査



佐渡北方～秋田沖を想定した津波の伝播(大和堆を経由したパス)



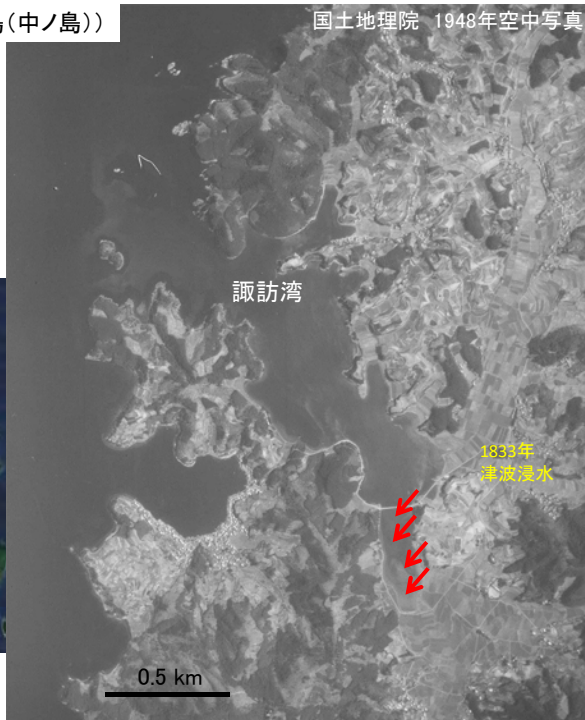
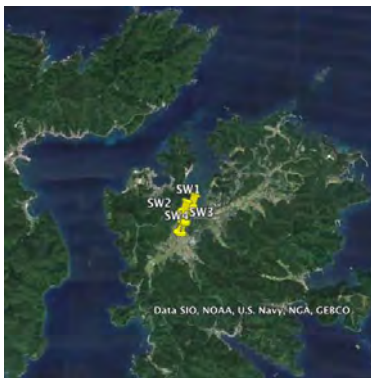
島根県(隠岐)・鳥取県の想定での最大津波
北東北沖(F24,F28)を想定

津波堆積物の調査例(島根・隠岐島(中ノ島))

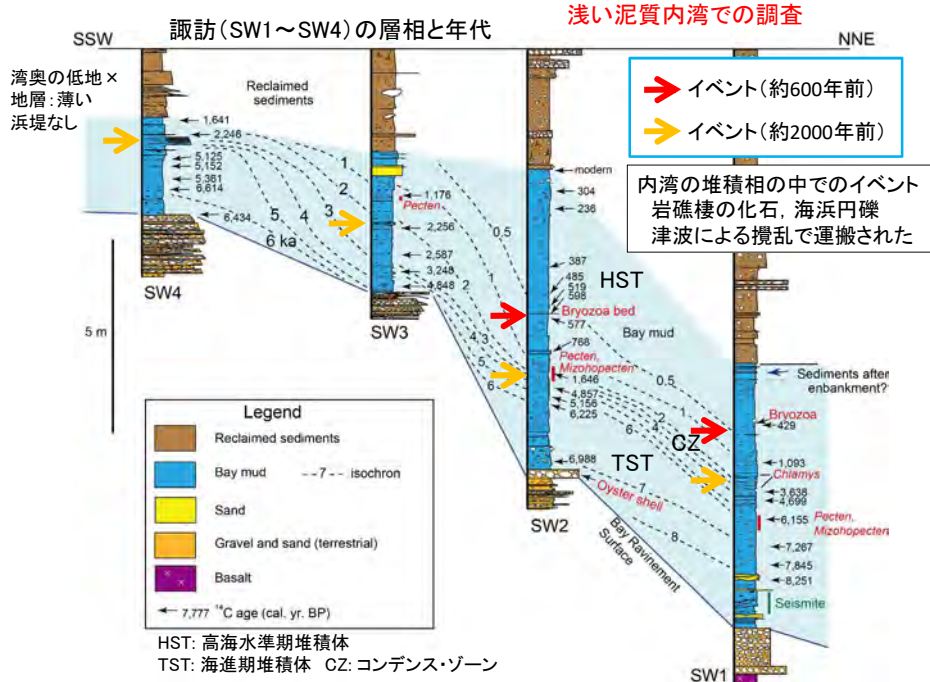
海士町諏訪湾奥の干拓地:
1933年から干拓事業

湾の形状からすると
冬期波浪の影響は受けにくい。

浅い泥質内湾での調査



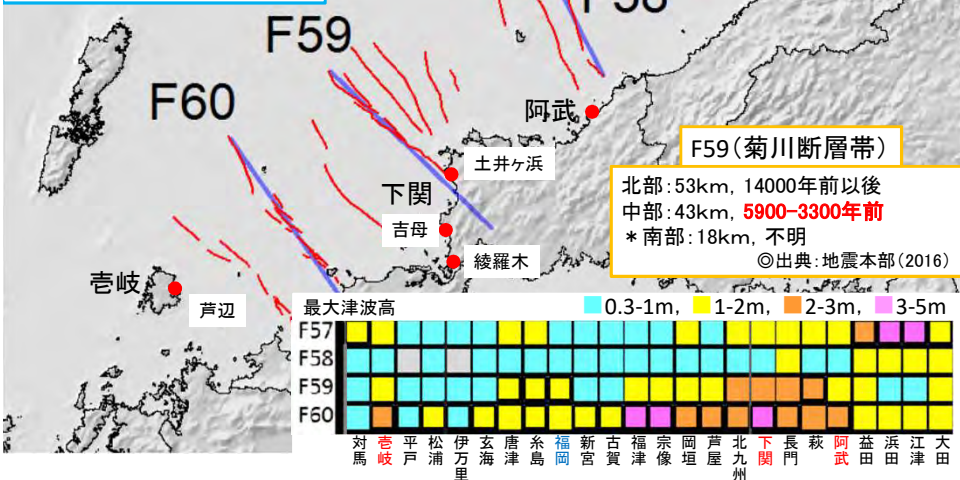
津波堆積物の調査例(島根・隠岐島(中ノ島))



山口~福岡沖の海底活断層の分布
日本海大規模地震検討会(2014)

F60(西山断層帯)

大島沖: 38km, 20000年前以後
* 西山: 43km, 13000-2000年前
* 嘉麻峠: 29km, 不明
©出典: 地震本部(2013)

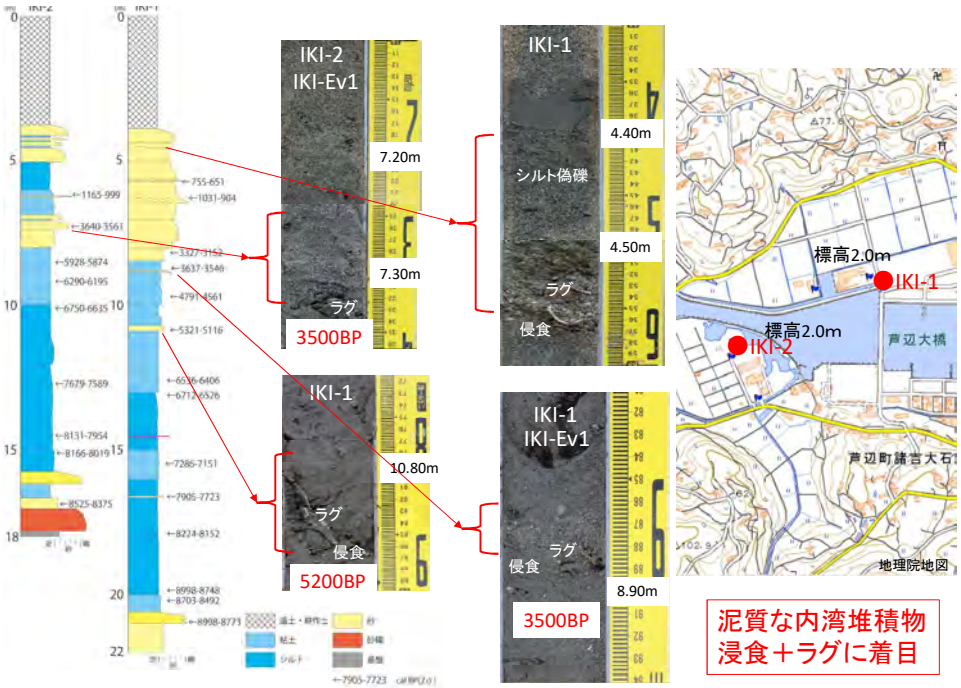


津波堆積物の調査例(長崎・壱岐 芦辺)

浅い泥質内湾での調査



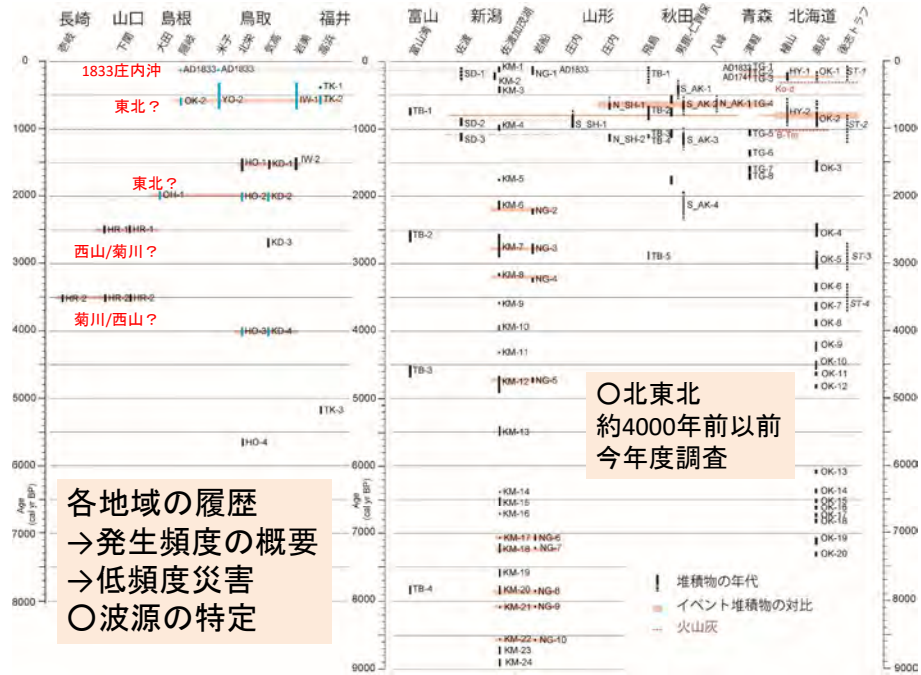
津波堆積物の調査例(長崎・壱岐 芦辺)



約9000年間の堆積物による津波履歴



約9000年間の堆積物による津波履歴



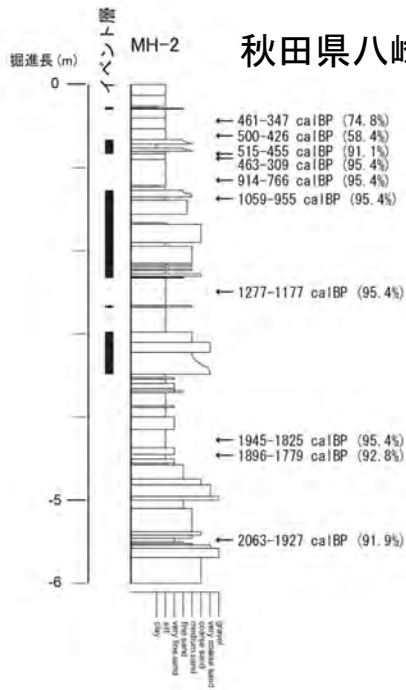
秋田県における2018年度津波堆積物調査



これまでより古い堤間湿地等で堆積物を探す



これまで複数のイベント層が認められる地域で さらに調査



秋田県八峰町MH-2コア (2018年度)

複数のイベント堆積物

MH-2コア

- ①15世紀以降
- ②15世紀
- ③10世紀
- ④8世紀以前

MH-1コア

- ①1983年
- ②13~15世紀

